

# 地域猫活動の概要

2017年2月11日

地域猫活動アドバイザー 石森信雄



# 動物の愛護及び管理に関する法律

環境省のパンフレットを見てみると・・・

## 1 動物の愛護及び管理に関する法律とは

### 1 目的

#### 人と動物の共生する社会


##### 動物の愛護

動物の虐待や遺棄の防止  
動物の適正な取扱い  
動物の健康や安全の保持

##### 動物の管理

動物による危害の防止  
生活環境保全上の支障の防止  
人への迷惑の防止

この法律は、人と動物の共生する社会の実現を図ることを目的としています。動物の虐待や遺棄を防ぎ、動物の適正な取扱いや動物の健康と安全を守ることを通じて、命を大切にする心豊かで平和な社会を築くとともに、動物をただかわいがるだけでなく正しく飼養し、動物による人の生命、身体及び財産に対する侵害や、騒音や悪臭など生活環境の保全上の支障を防止することを目指しています。



環境省「動物の愛護及び管理に関する法律のあらまし（平成24年改正版）」より

人と動物の共生する社会の実現を図る

ことが目的とのこと

本日のテーマに置き換えると

**人と猫の共生する社会**ということになる

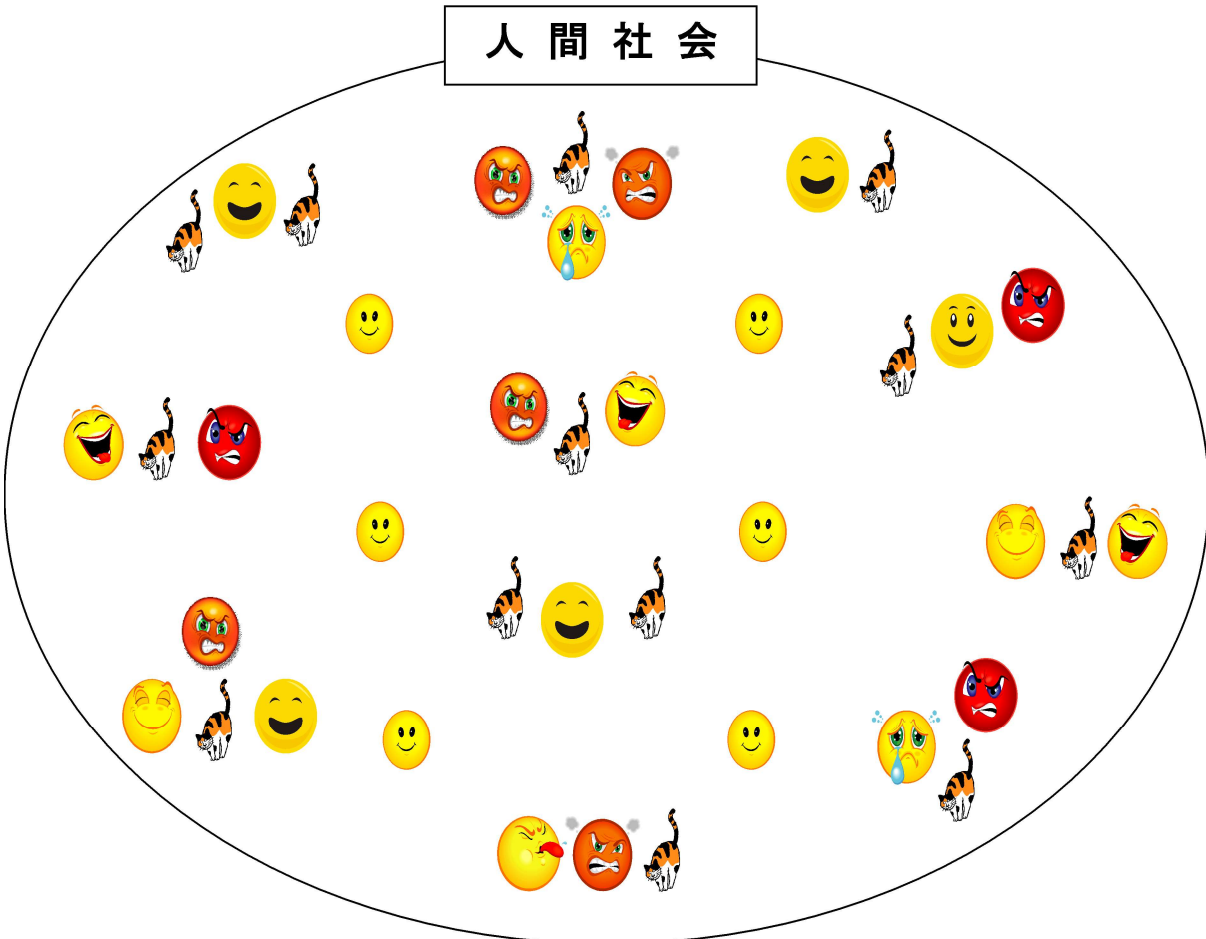
では

「人と猫の共生する社会」とは何か？

法律で言う「社会」とは  
もちろん、**人間社会のこと**  
**動物社会のことではない**

猫をめぐる人間社会・・・現状はこんな感じ？

人間社会



## 「地域猫」

という名称における「地域」とは  
もちろん「地域社会」のこと  
単なる場所（エリア）のことではない

だから、地域猫とは  
「地域社会に受け入れられている猫」である

「地域社会」＝地域に住んでいる人々



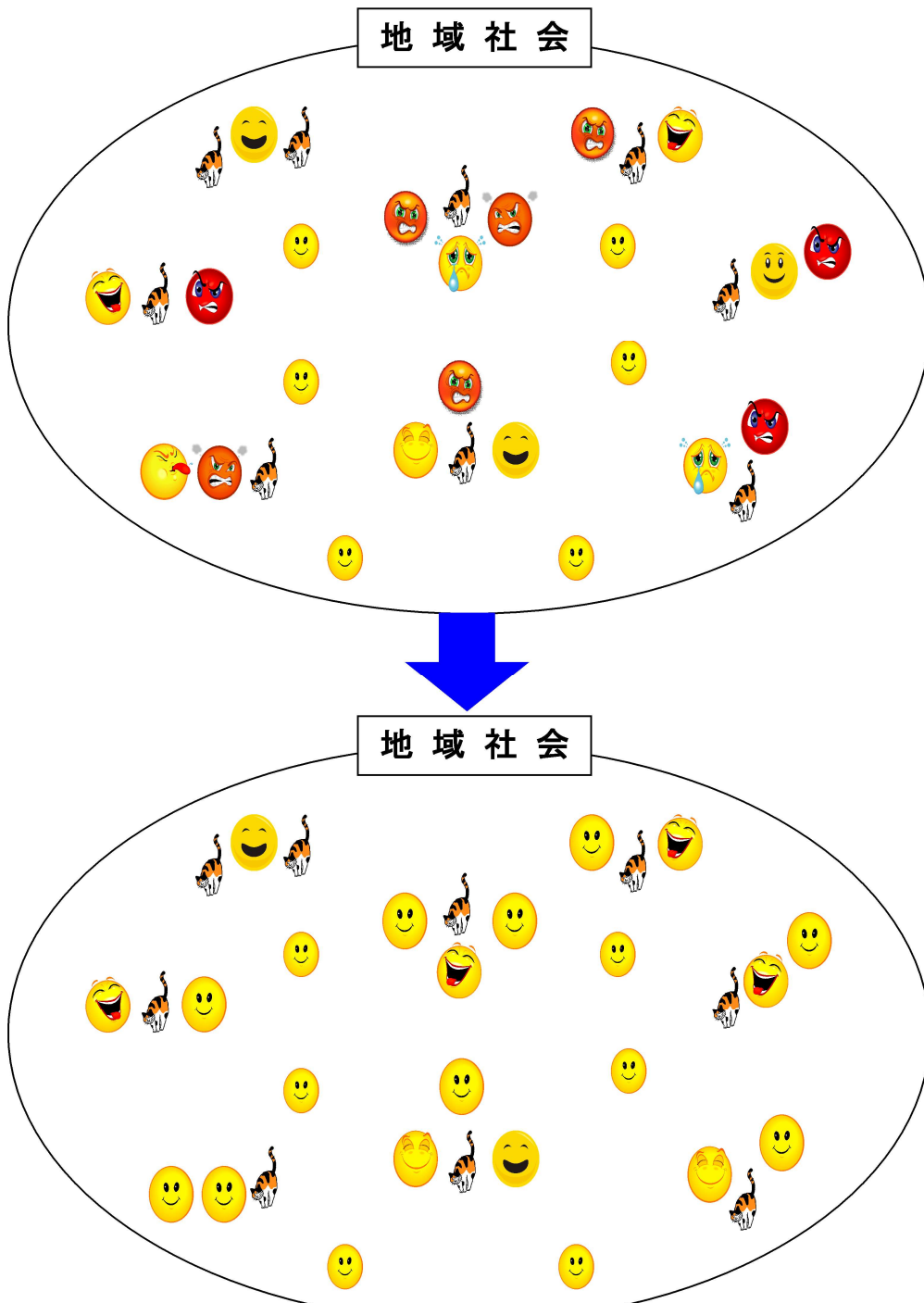
「地域猫活動」＝地域の人々を相手にする活動

## なぜなら

- ノラ猫にエサを与えている人＝地域住民
- エサは与えていないが猫好きで  
ノラ猫のことを心配している人＝地域住民
- ノラ猫被害に怒っている人＝地域住民
- ノラ猫被害で嘆いている人＝地域住民
- 自分には関係ないと思っている人＝地域住民

地域社会の人々の気持ちにアプローチしなければ  
「人と猫の共生する地域社会」は絶対に実現しない。  
地域住民は、ノラ猫問題の当事者そのものである。

# 地域猫活動の目指すもの



特に猫好きではない人 . . . . . 適正管理（被害減少）を理解し、もはやイライラしない  
「被害対策されているし、猫で癒されている人もいるし、  
まあ仕方がないか」

エサを与えている人 . . . . . きちんとマナーを守り、近隣に配慮している

猫好きだがエサは与えていない人 . . . 猫が地域で嫌がられていないので安心

適正管理、ルールとマナー、違う立場の人への配慮（近隣コミュニケーション）がポイント

→→→→→ **ノラ猫がいてもイライラしない、暮らしやすい地域社会**

ノラ猫がいてもイライラしない、暮らしやすい地域社会



「邪魔な猫は行政に引き取ってもらおう」とは考えない

地域猫活動では、殺処分の減少は目標ではなく、**結果**である。

猫が嫌われないような地域社会づくりをすれば  
結果として処分数は減少していく

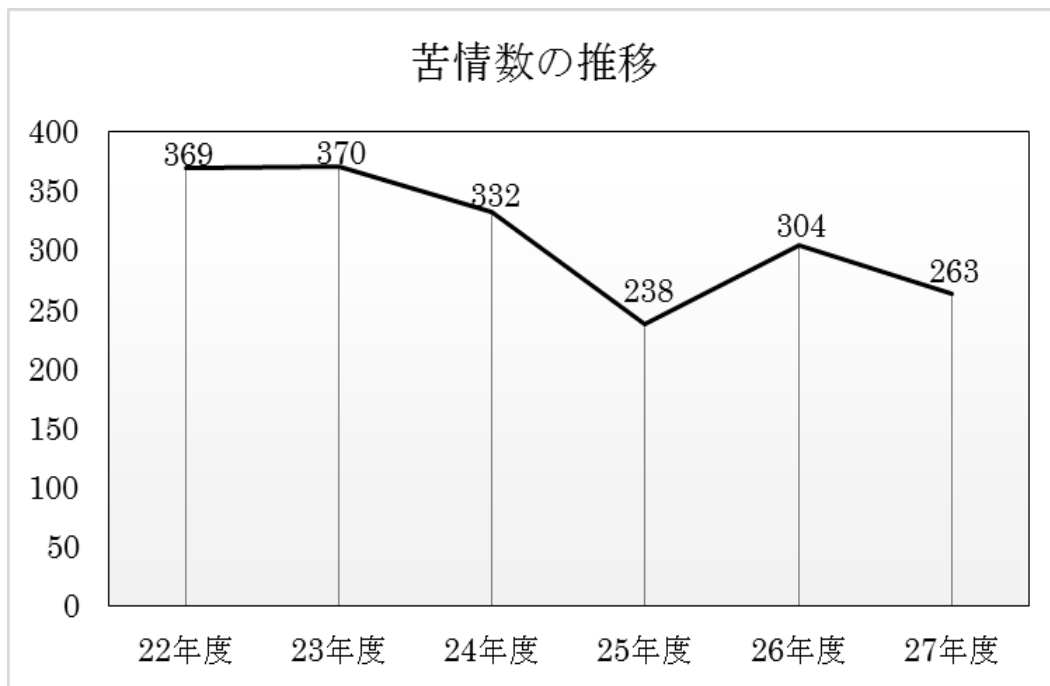
東京都動物愛護相談センターにおける練馬区内からの子猫の引取り数

年度	頭数
21年度	85
22年度	60
23年度	59
24年度	43
25年度	23
26年度	26
27年度	11

ノラ猫がいてもイライラしない、暮らしやすい地域社会



行政への苦情の減少



※ 資料提供：練馬区保健所



## 「地域猫」という用語の混乱

猫愛護活動を「地域猫活動」と思っている人が多い

### ① ノラ猫被害者を無視した、去勢不妊手術のみの活動

- ★ 被害住民の不満は置き去りのまま
- ★ 苦情を言う地域住民を敵視→→地域コミュニティを分断

### ② エサやり者を排除し、手術した動物愛護家が給餌・管理をする活動

- ★ エサやり者も地域住民
  - 猫で癒されている人の楽しみを奪う権利は誰にもない
  - 地域社会を無視した活動
- ★ 地域のエサやり者を誹謗中傷することも→→地域コミュニティを分断

### ③ 猫の保護譲渡を中心とする活動

- ★ あくまで「猫を助けるための活動」であり、  
「猫がいてもイライラしない地域社会づくり」は主目的ではない。
  - 地域コミュニティに密着して活動する訳ではない。

これらの活動は、地域住民、地域社会とともに歩む訳ではないので、  
意義ある活動をしている団体も多いが、「地域猫活動」ではない。

## 「地域猫活動」とは

- ① 地域住民を巻き込みながら合理的な猫被害対策を進め、
- ② 地域環境を着実に改善していくことによって  
自然な流れで住民の意識を変革していき、
- ③ 動物愛護管理法の目的である「人と動物の共生する社会」を  
地域という小さな社会において実現していく、
- ④ 地域密着型の、草の根の市民活動である。

※ 地域住民を相手にする活動であり、猫を相手にする活動ではない。

地域の人を大切にすると⇒⇒⇒地域の猫も大切にされる

これこそが、動物愛護管理法の精神に合う、

真の動物愛護ではないか

「地域猫活動」の考え方においては、

「動物愛護家が自分の熱い思いで猫を守る」のではなく・・・

- ① **地域住民を極力尊重**（「地域の問題は地域で解決」が大原則）
- ② 猫が好きな地域住民に「マナーを守って」猫を大切にしてもらう
- ③ **活動者は、できるだけ黒子となって**
  - ・ 被害対策を進めて、猫被害者に安心してもらい、
  - ・ 猫好きの人にマナーを覚えてもらい、
  - ・ 地域の人たちに解決スキルを伝授し、

**誰もが安心して暮らせる地域づくりをしていくのが役割**

## 地域猫活動の具体的内容

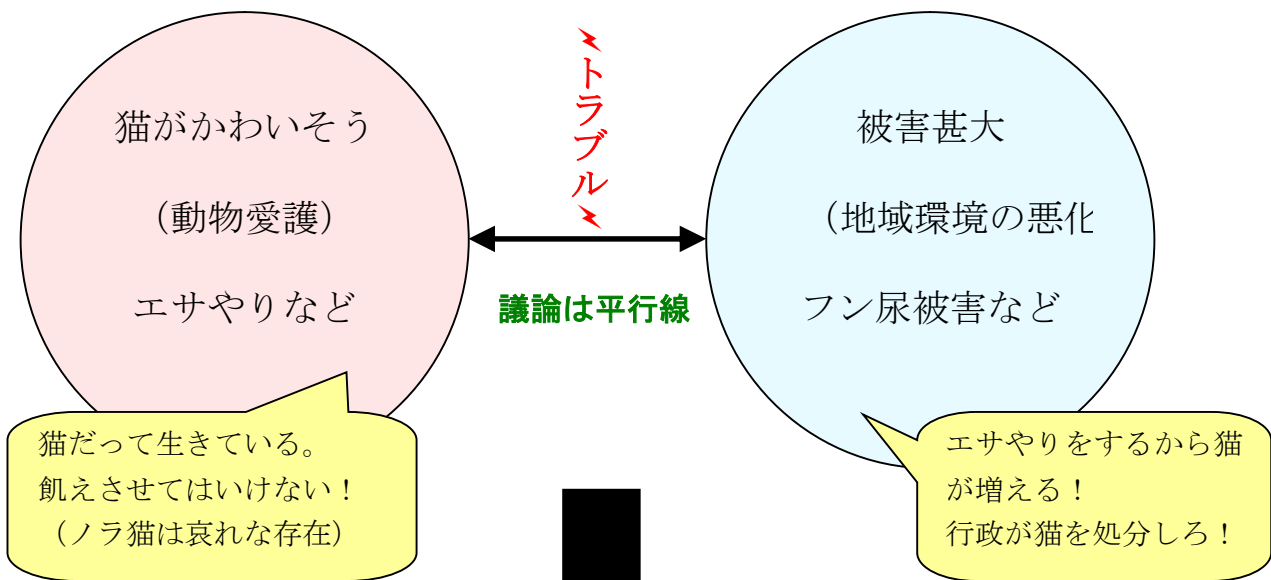
- ① ノラ猫を排除しても何ら問題の解決にならないことを大前提とする
- ② 地域住民、ボランティア、行政の三者が連携する
- ③ 地域住民の理解と協力のもと、飼い主のいない猫を適正管理し、被害の減少を図る
- ④ 猫をめぐる人間トラブルのない地域づくりを目指す
- ⑤ 結果として、猫が地域社会で安住できるようになる

具体的には、

- ① 地域住民と積極的にコミュニケーションを取って理解を得ながら、
- ② 去勢・不妊手術を施して、これ以上子猫が生まれないようにした上で、
- ③ 手術で1代限りとなった猫について、エサの管理（周辺地域からこれ以上猫を集めないような適切な給餌）や猫トイレの設置などにより、フン尿等の被害をできるだけ減少させていく。
- ④ 適正管理されている猫たちは、徐々に数が減少していく。

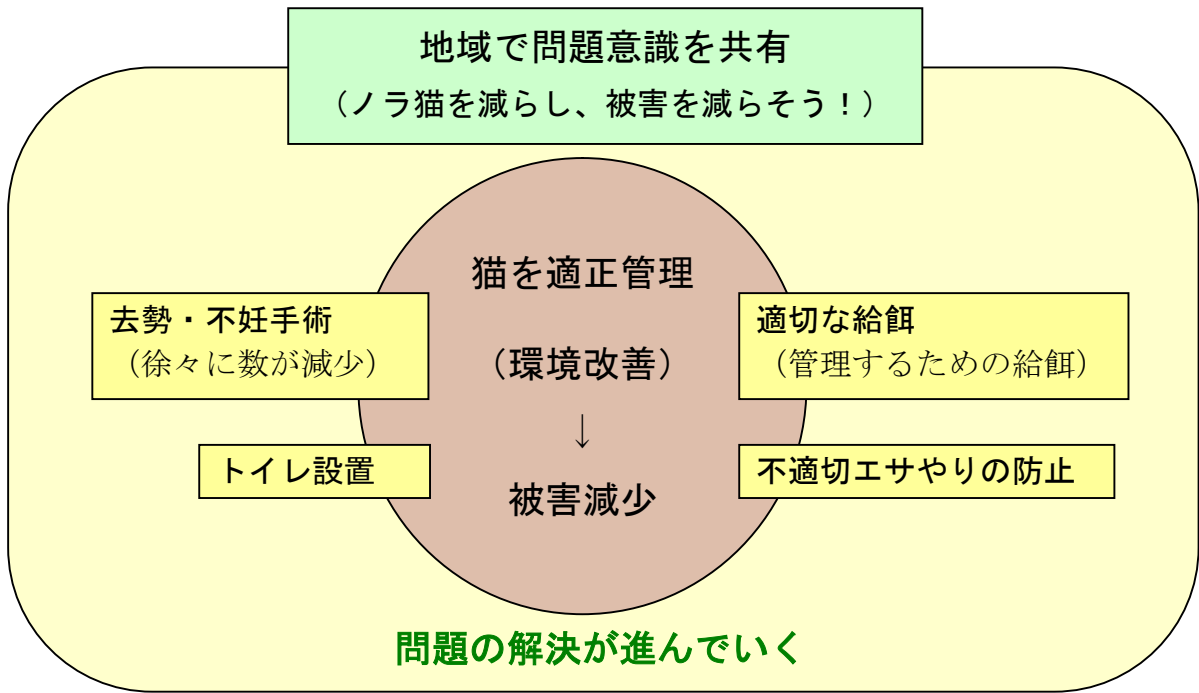
# I 考え方

## これまで



どちらも、ノラ猫を減らしたいという気持ちは同じ

## 地域猫の考え方



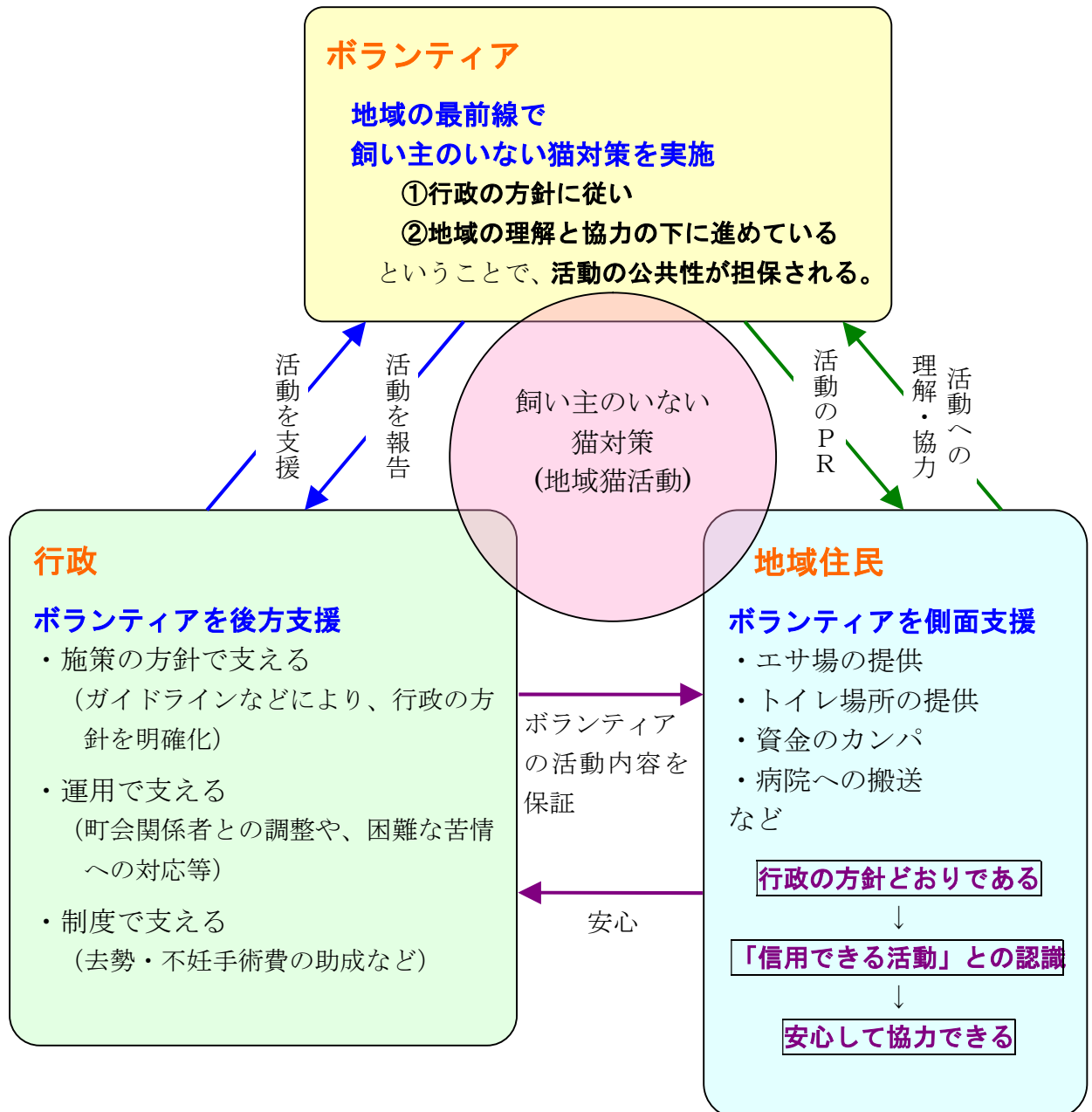
猫による被害が減少していくことによって、猫が地域の嫌われ者になることも少なくなり、人と猫の(=愛護者と猫被害者の)共存が図られていく。

## II 行政、地域、ボランティアの三者協働

猫と人が共生する地域づくりは、下図のとおり、三者協働によって成功する。

ボランティアと行政のみの二者連携が見受けられるが、地域の理解が不十分な場合、ボランティアが精神的に孤立するため、長続きしない。

また、行政の支援を受けずに活動しても、地域住民に「公共性のある活動だ」ということが分かってもらえないので、苦勞することが多い。



### Ⅲ よくある意見

#### 猫は保健所で捕獲して処分すれば良いのでは？

各自治体によってそれぞれ事情を抱えており、対応は様々。  
しかし「人と動物の共生する社会」を目指す観点からすると、安易な引取りは避けねばならない。外飼いの猫を処分してしまうリスクもある。

※ 東京都の場合


犬猫等の収容は、東京都動物愛護相談センターが行っている。  
しかし、猫については、外に自由に出している飼い主がおり、**外をウロウロしている猫が飼い猫かノラ猫か区別がつかない**ため、歩けないほど負傷している等の一部例外を除き収容していない。

#### エサやりを止めれば良いのでは？

- ① 猫はテリトリーを重んじる動物なので、エサやりを止めても、お腹を空かせて地域（テリトリー）に留まる。
- ② 飢えた猫が、ゴミを漁ったり、僅かな食べ物を巡ってケンカをしたり、屋内に侵入して食べ物を盗んだりして、二次被害が生じる。  
**猫はなんとしても生きようとする。おとなしく餓死する動物はいない。**
- ③ それでもエサを与えない状態を続ければ、いつかは地域からいなくなる。  
しかし、エサを求めて近隣の地域に移動しているだけなので、**狭い町内でノラ猫の押し付け合いをしているだけ**、ということになる。  
しかも、**移動先のエリアで繁殖し続けて大迷惑。**



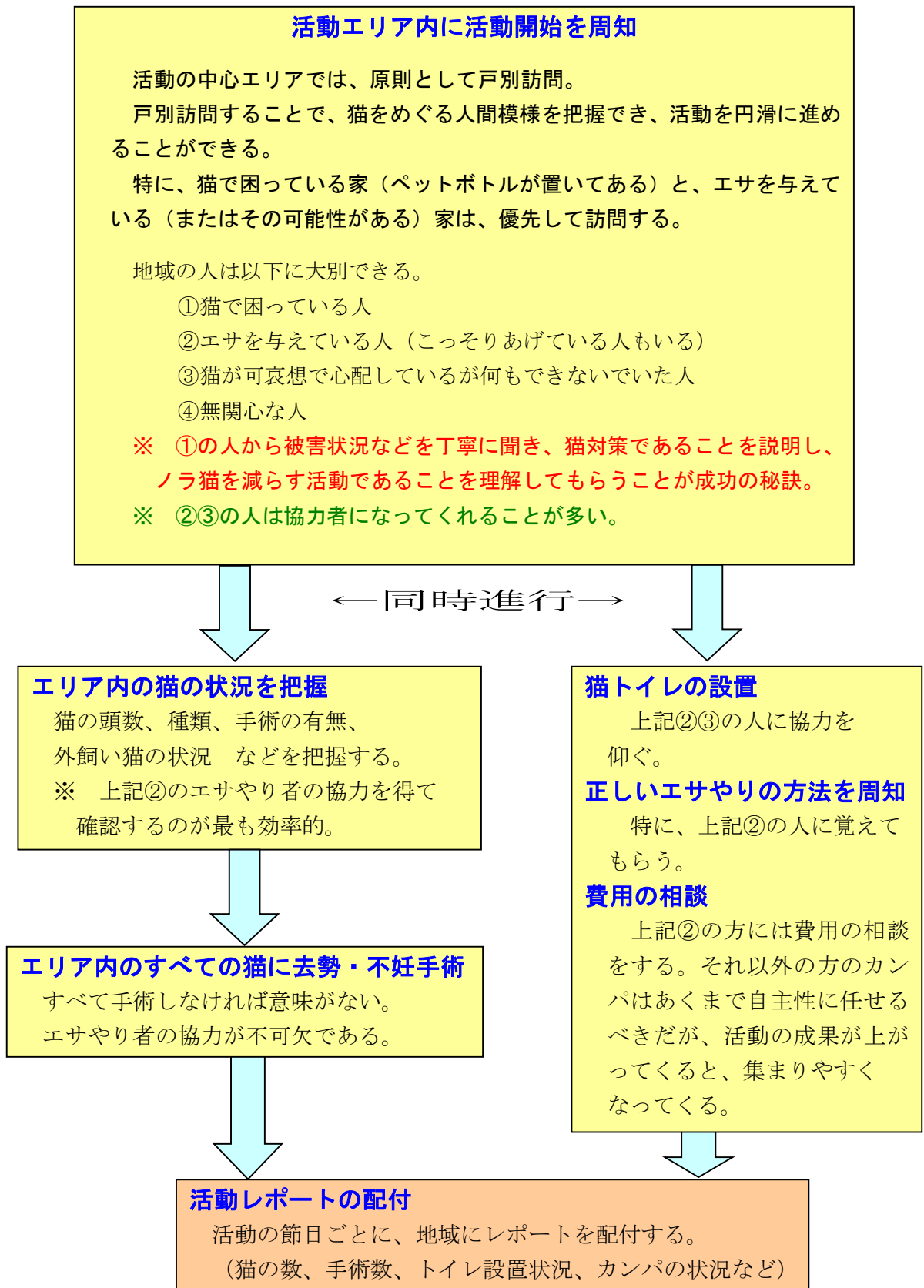
**エサやり禁止では、問題の解決にならない**



**エサをやろうがやるまいが、猫は本能に従って繁殖するので、  
必要なのは ①増加防止（手術）と②被害対策（猫トイレ）  
そして、③この考え方を地域に理解していただくこと（地域広報）**

## IV 地域猫活動の具体的方法

### 【活動の大まかな流れ】



## V 大切なポイント

### 1 去勢不妊手術のポイント

#### 事前リサーチ・個体把握

事前に、活動エリアの猫の数をリサーチし、個体把握する。

何頭いるかも分からずにやみくもに捕獲・手術をしても、「全頭終わったと思ったら、他にも猫がいて子供を産んでしまった」ということになる。

個体把握ができていれば、地域住民に対し「全体で〇頭いて、現在〇頭の手術が終わりました」と説明できる（活動の進捗状況を具体的に広報することは、とても重要）。

#### 地域のエサやり者と仲良く

猫はエサの時間に一斉に集結するので、個体把握のためには、地域のエサやり者と仲良くなるのが大切。

#### 耳カットは何のため？

手術済の猫への耳先V字カットは、地域住民に活動進展を知らせ、安心してもらうため。

- ・耳カット猫を見て、地域住民は「確かに活動が進んでいる」と実感する。

→耳カット猫は、地域猫活動の最高のスポークスマン

### 2 エサの管理

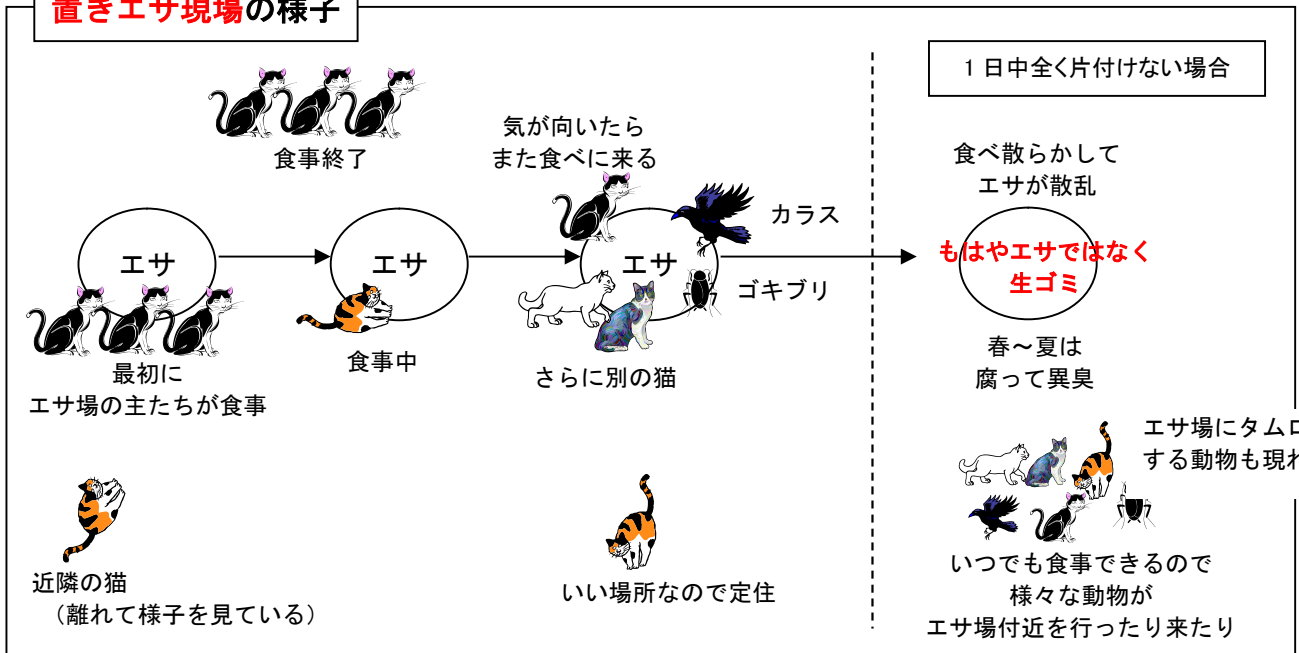
- ・ **誤った方法**でエサやりすると、他地域から猫を呼び込む。
- ・ **適切な方法**でエサやりすると、継続的に個体把握ができる。

**「エサやりするから猫が増える」  
のではなく、  
「誤った方法でエサやりをするから、猫が増える」**

- 誤った方法・・・ エサを置き、そのまま現場を去る（置きエサ）
- 正しい方法・・・ 時間を決めてエサやりし、食後はすぐに片付け

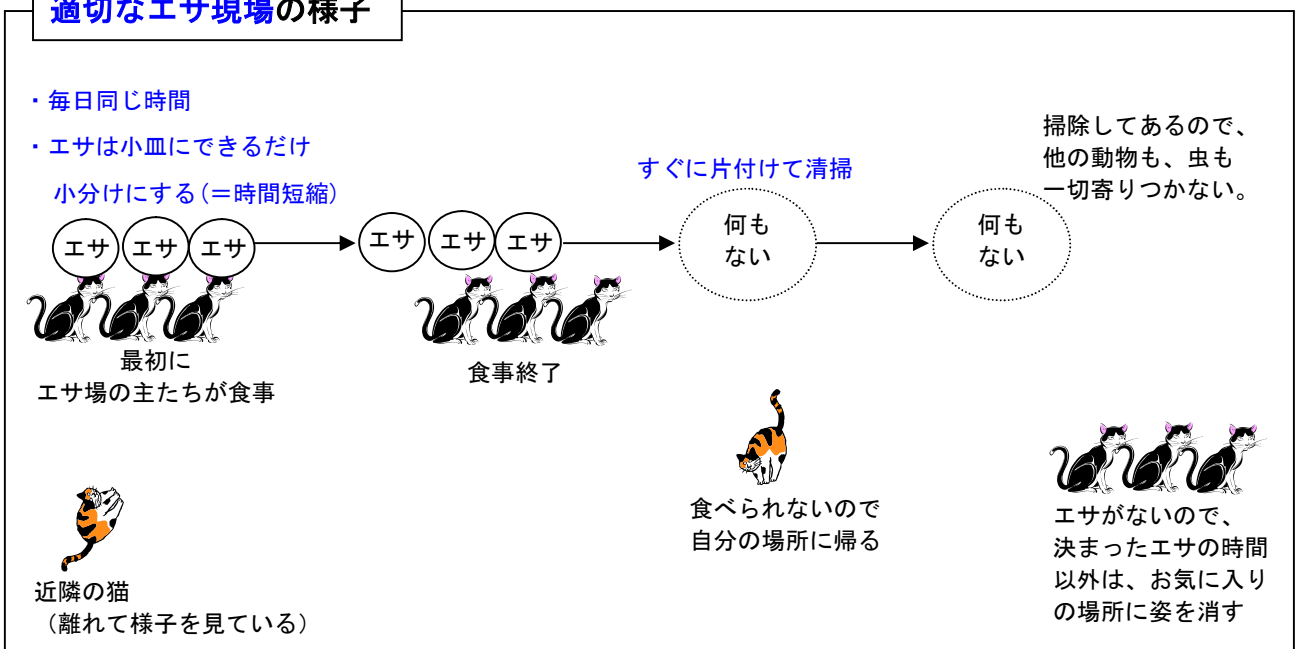


## 置きエサ現場の様子



- ・置きエサ現場では、いったい何頭の猫がエサを食べに来ているのかさえ、把握できない。
- ・把握していない猫が出産してしまう可能性が高い。
- ・次々と新たな猫を呼び込むので、いくら去勢不妊手術してもきりがない。  
※ 置きエサ現場では、全頭手術しても、流入猫が新たなコロニーを形成し、3～5年程度で元の状態に戻る事が判明している。

## 適切なエサ現場の様子



- ・活動対象の猫が、決められたエサの時間に集結するので、しっかり個体把握ができる。
- ・捕獲は、決められたエサの時間に行えばいいので、非常に効率的。
- ・把握している猫全頭の去勢不妊手術が終われば、もう増えない。

※ 他人の敷地（駐車場など）で無断でエサやりしている方がいるが、当然認められない。  
これは、「猫のエサやり」の問題ではなく、「他人の敷地に勝手に入って自分の好きなことをしてはいけない」という常識の話である。不法侵入に問われる可能性もある。

### 3 猫トイレ

トイレを作ったら、被害者から猫のフンと周辺の土をもらい、トイレの土に混ぜる（被害者がかなり喜ぶ。）。

猫の関心を引くために、最初は土にまたたびを混ぜることも効果的。



庭の土を掘り返したトイレ

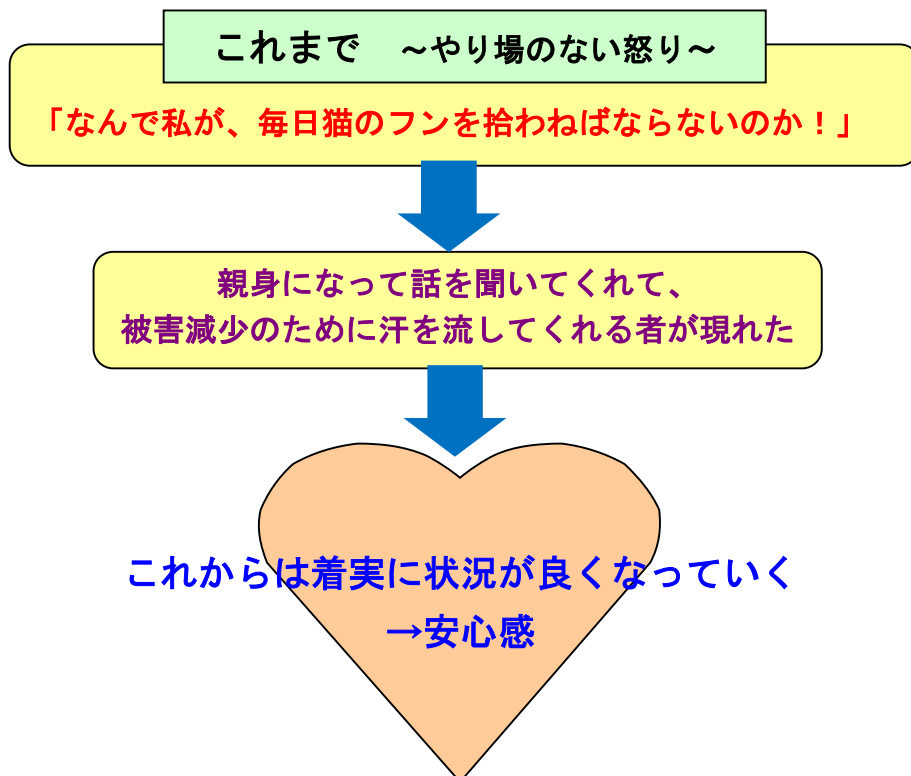


プランターに園芸用の土を入れたトイレ



猫の通り道にトイレ砂を撒いたもの

もちろん被害をゼロにはできないが、**被害者に安心感を持ってもらえる。**



#### 4 地域猫の考え方を地域に理解していただく

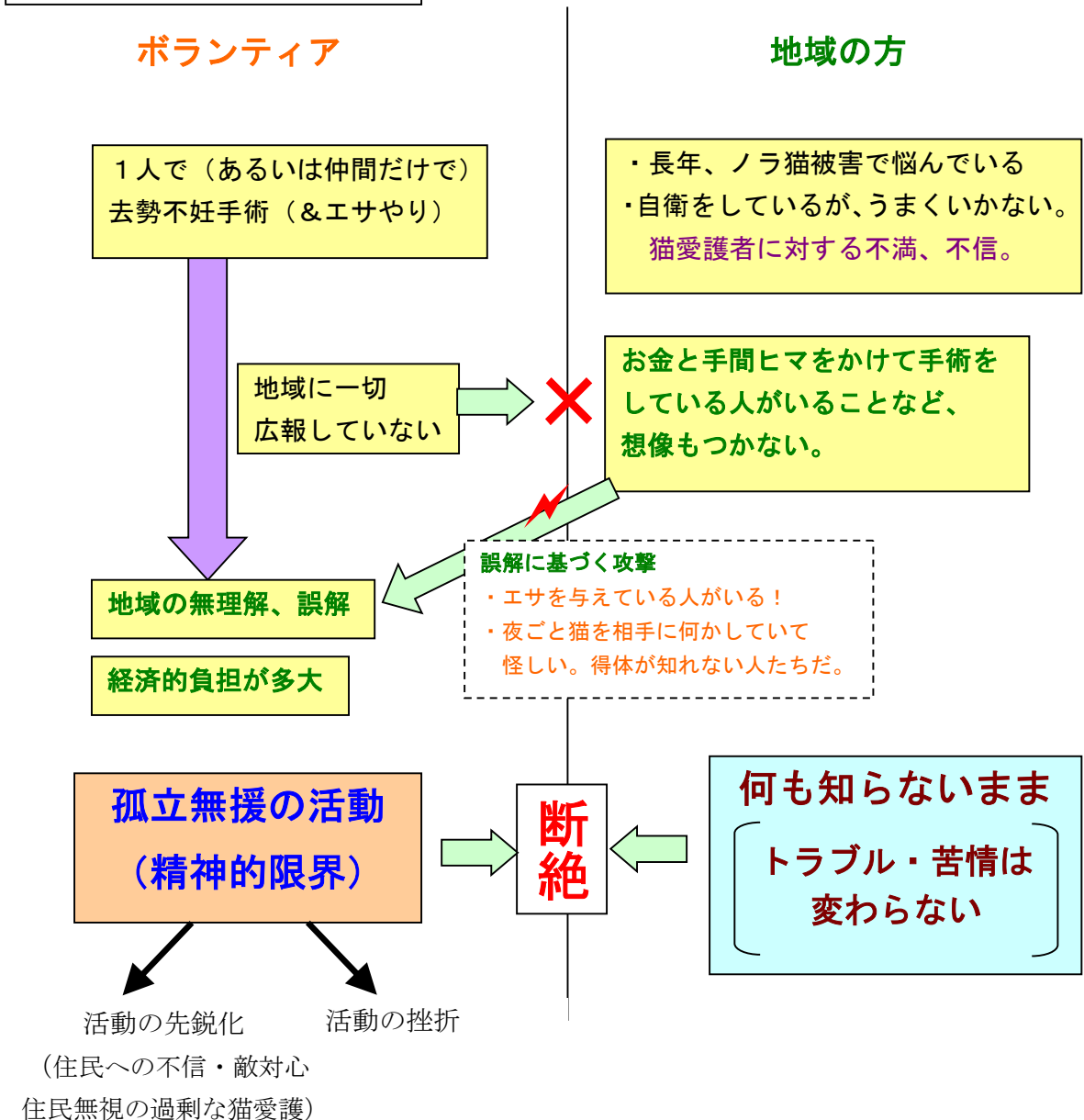
地域コミュニティに関わっていないならば地域猫活動とは言えない。

猫を可愛がっているのも、猫で困っているのも、どちらも地域住民である。

地域住民との関係づくりをしなければ、猫が地域で受け入れられることはない。

人と猫の（＝猫愛護者と猫被害者が）共生する地域づくりのためには、地域の方に活動の趣旨を理解していただくことが必須である。

#### うまくいかない例



# 地域猫

## ボランティア

去勢不妊手術 (&エサやり)  
トイレの設置  
エサ場の掃除  
不適切なエサやり者への指導

協力者探し

実績を上げる

地域にレポートを配布

「すでに〇頭手術しました。あと×頭です」  
「猫トイレを設置しました」  
「これまでに〇円カンパをいただきました」

地域から喜ばれ  
やりがい



協力関係

## 地域の方

・長年、ノラ猫被害で悩んでいる  
・自衛をしているが、うまくいかない。  
猫愛護者に対する不満、不信。

「本当に被害が減り、  
猫の数が減るなら、  
ありがたい話だ」

理解→安心→協力

- ・エサ場の提供
- ・トイレ場所の提供
- ・資金のカンパ
- ・病院への搬送

さらに安心・信頼

長年の悩みからの  
解放

## 広報活動の具体的方法

### ★ 活動開始時

活動趣旨を簡単に記したチラシを作成し、戸別訪問しながら配付する。

「猫愛護活動」ではなく「ノラ猫対策のための活動」であることをアピールしてチラシを渡す。

自治体作成の猫対策チラシがあれば、それと一緒に配付すると、さらに効果的。

※ 開始時チラシの具体例は、本資料巻末に掲載

#### 活動開始時、活動の中心エリアでは、戸別訪問をする。

猫で困っている家（ペットボトルが置いてある）や、エサを与えている家（またはその可能性がある家）は、最優先。

戸別訪問には勇気が要るが、「ノラ猫対策として去勢不妊手術をする」と説明すると、たいていの場合、驚くほど良い反応が返ってくる。

#### 戸別訪問は、地域猫活動の基本

##### ① ノラ猫の被害者を味方につけることができる

※ 被害に遭っている方の話を丁寧に聞くことが、活動成功のコツ。

話をきちんと聞いてくれて、対策までしてくれる人に、反感を持つ人はいない。

##### ② 庭でエサを与えている家など、猫好きな家を把握できる

この人たちの力を借りて活動を進める。猫トイレの設置などの協力を求める。

### ★ 活動報告（活動レポート）

定期的に活動報告のレポートを配付する。

※ 活動レポートの具体例は、本資料巻末に掲載

基本的には、回覧やポスティングでも大丈夫だが、猫で困っている家とエサを与えている家には戸別訪問して、状況を丁寧に説明する。

## 5 理不尽な苦情

地域において、理不尽な苦情や要望を言われることがある。

そのようなときに、相手方に言い返してしまうと、感情的にこじれてしまい、活動の継続が困難になる。最終的には、猫がさらに嫌われるということになる。

相手の気持ちを害さないように十分に注意することが大切。

**売られたケンカは絶対には買ってはいけない。**

成功のポイントは、絶対にトラブルに巻き込まれないように細心の注意をしていくことである。

## 6 ボランティアどうしの関係について

ボランティアが10人いれば、10とおりの考え方がある。

他のボランティアの活動方法が自分のやり方と異なっていると、強く批判する人がいるが、他人の活動方法を否定するような言動は、絶対に慎まねばならない。

他のボランティアの活動は気にせず、自分のやるべきことを淡々と行うことが肝心。

## 7 動物愛護と人間生活のバランス

動物愛護は大切だが、地域の間人生活も大切である。この両方にバランスの良い活動が求められる。猫の愛護に偏ると地域住民の理解が得られない。

猫を大切にしつつも、地域住民（特に猫被害にあっている方）に共感し配慮することが、活動を成功させるポイント。

## 8 地域から信頼されるように

ボランティアが地域住民から信頼されるようになると、不思議なことに、自然と猫も地域から愛されるようになる。

逆に、ボランティアが地域住民から嫌われると、猫が責められることになる。

信頼は、地域住民への誠意・誠実な言動によってしか、得ることができない。



〇〇〇付近のみなさまへ

2016年〇月〇日

# 飼い主のいない**猫**対策を始めます



**猫の不妊・去勢手術を行います。** 捕獲予定 〇月〇日～

猫が好きな人も、猫でお困りの人も、みんなが暮らしやすい町にするために、〇〇〇市では、不妊・去勢手術を行い、猫を適正に管理し、トラブルを減らす **地域猫活動** を推進しています。このたび、〇〇〇付近に猫が多いとのご相談があり、ボランティアが去勢不妊手術のお手伝いをいたします。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

去勢不妊手術



捕獲して

不妊手術をし

元の場所に戻す



## 餌やりマナーを守りましょう

餌やりは近隣に配慮し、マナーを守りましょう。ご理解を得た場所で、決まった時間に、適切な量を与え、食べ残しはすぐに片付け、後を清掃します。**置き餌は禁止です！** 未手術の猫に餌を与えている方は、お知らせください。(個人情報厳守)



## 手術の効果



外猫の寿命は4～5年です。不妊・去勢手術により、徐々に数が減り、おとなしくなります。発情期の鳴き声、ケンカ、尿の臭気も減ります。手術後は耳先を小さくV字カットし、元の場所に戻します。



## 首輪・迷子札のお願い

飼い主の連絡先がついた首輪や、耳先カットがない猫は、未手術の野良猫と判断せざるを得ず、手術対象とします。放し飼い・手術済はお知らせください。(※安全のため室内飼いをお勧めします)



## ご支援のお願い

手術費用は1頭につき**約〇千円**かかります。全頭手術のために、金額は問いませんのでご支援をいただけたら大変ありがたく存じます。餌やり、放し飼い、猫の居場所などをご存知の方はお知らせください。

〇〇〇町会のご理解のもとで活動しています。

〇〇〇地域猫の会 〇川 090-XXXX-XXXX xxxxxxxx@xxxxxxx.co.jp

市担当部署: 〇〇〇市 〇〇課 〇〇係 00-9999-9999





## 〇〇小学校周辺住民の皆様へ

繰り返し出産をしているノラ猫に不妊手術を受けさせたいとのご相談を受け、〇〇小学校周辺の飼い主のいない猫対策(地域猫活動)を行っています。

調査したところ、引越して捨てられた2匹(手術済み)を含め、11匹の飼い主のいない猫がいることがわかりました。



母猫とその子猫もまた、この春出産をする時期になり、このままでは猫の数が一気に増えてしまうことがわかりました。

地域猫活動とは、飼い主のいない猫問題をその地域の問題としてとらえ、住民、ボランティア、行政が協働して力を出し合い、問題を解決していく活動です。

1. 飼い主のいない猫に**不妊去勢手術**を行い、繁殖を制限し、1代限りとし
  2. **ゴミあさり**をさせないよう餌をキッチンと与え、片づけを行い
  3. 地域住民の方の協力で、**トイレなどを設置し糞尿の被害対策**を行う
- ことで、地域の猫と人、人と人のトラブルの解決を図ります。

行政では、このような活動を猫被害対策のための活動と位置付けています。

ノラ猫の寿命は3～5年と短く、この活動を続けていくことで、だんだんと猫の数が減り、糞尿被害も減っていきます。

餌をあげなければいい、とお考えの方もいらっしゃると思いますが、餌が少なくなったとしても、繁殖が抑えられるわけではありません。

また、捕まえて処分する、別の場所に遺棄・虐待することは、ノラ猫であっても犯罪です(100万円以下の罰金)。各行政も、ノラ猫の引き取り処分は行っておりません。

地域の子供たちに、命を慈しみ大切にすることを学んでもらう活動でもあります。迷惑だから隣町に追いやる、処分するといった考えからは、生命尊重の理念は伝わりません。

〇〇町会のご許可を得て、

### 月 日 から 猫の捕獲作業を行います

既に避妊手術をしている猫を知っている、家猫で外へ出している猫がいる、自分も猫のお世話をしているなど、情報があれば予めご連絡ください。

また、家猫は外へ出さないようお願いいたします。

猫が嫌われ者にならないように、ご協力をお願いします！

〇〇〇〇の会

代表 〇〇 〇〇子 090-〇〇〇〇-〇〇〇〇

## 地域の皆様のご理解とご協力をお願いします！

\*\*\*地域の環境改善のため、「ちょっとだけ」活動に参加してみませんか？\*\*\*

猫の不妊手術を徹底していくことで、**猫の発情中の鳴き声、喧嘩、マーキングを抑える**ことができますので、地域猫活動地域はそれだけでもとても静かに穏やかに変わります。繁殖が抑えられることで、子猫の無駄な死を目にすることもなくなります。

ですが、この活動には、**手術費用、餌代、トイレの設置場所、清掃**など、皆様のご協力が不可欠です。

現在、猫のお世話をしている方は、今回の費用について多くの負担をしていただくことになっていますが、個人で全額を負担することは出来ません。

また、ウンチ被害については対策はこれからになるため、皆様のご理解をいただきにくい現状ではありますが、被害状況など具体的にお聞かせいただき、対策を取っていかねばいけません。

ボランティア活動と言うと、特殊な人たちだけの活動と思われがちですが、この地域猫活動は、地域に根ざした地域環境改善のための市民活動です。

どんな小さなご協力でも構いません。ちょっとだけ、お力を貸していただけませんか？

具体的には

**費用のカンパ**.....500円でも1000円でも構いません。協力病院へ搬送しますので、格安で手術は行えます。無理ない範囲でのご協力、よろしく願いいたします！

ご協力いただける方は、〇〇町会 〇〇様 に お渡しくださいますよう、お願いいたします。

**トイレの設置**.....ウンチ被害対策で最も有効なのが、トイレの設置です。プランターを電柱脇に設置するなど、場所の提供をお願いします。

**清掃のご協力**(週に1, 2回で十分です)をしていただける方、ちょっとやってみようかな、という程度で構いません。是非、ご連絡ください。

**フードのカンパ**.....猫の繁殖を抑えるための捕獲は、決まった場所・時間に餌付けを行い、猫の行動を把握し管理していないとできません。餌付けは大切な作業です。不要になったフード(缶、カリカリ)をいただけると助かります。



皆さんのちょっとのご協力、どうぞよろしくお願いいたします。

〇〇〇〇の会 代表 〇〇  
〇〇町会

090-〇〇〇〇-〇〇〇〇  
03-〇〇〇〇-〇〇〇〇

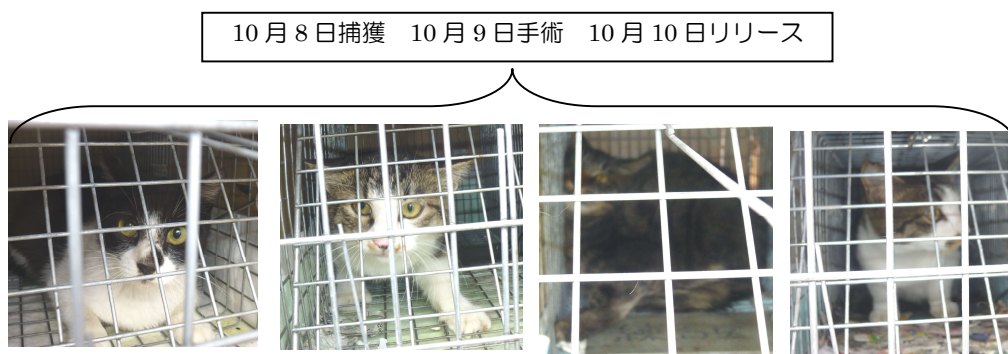
# ノラ猫対策のご報告

ご近隣の皆様

こちらは、〇〇〇マンションに住んでいる××と申します。

先日ご説明しましたとおり、現在、この地域のノラ猫の去勢不妊手術を進めています。

これまでに**オス3匹、メス2匹の去勢不妊手術が完了**しました。



この猫たちは皆、**手術済の目印として、耳の先が小さくV字にカット**されています。  
耳先がV字カットされている猫は、もう繁殖しません。

ノラ猫は飼い猫と違い、病気や交通事故などであまり長生きできません。

一代限りの命ですので、どうか見守っていただきたく思います。

**捕獲を手伝ってくださった方、ご寄付をくださった方、情報提供いただいた方、皆様、本当にありがとうございました！**

**未手術なのは、白黒オス1匹、トラのメス1匹**です。

未手術の白黒オスに去勢手術をするため、引き続き、深夜・早朝に捕獲器を持って、地域をウロウロしています。不審に見えるところと思いますが、ノラ猫対策の作業ですので何卒ご理解ください。

**裏面があります**

## 【10月14日時点での会計報告】

支出	手術費（オス）	2,100 円× 3 匹＝ 6,300 円
	手術費（メス）	3,150 円× 2 匹＝ 6,300 円
	計	12,600 円
収入	ご寄付	15,000 円
残金		2,400 円

※ 今後、タイミングを見ながら、成猫のオス1匹・メス1匹を手術します。残金は、これら2匹の手術費用の一部に充てさせていただきます。

※ 病院の領収書を見たい方は、ご連絡ください。

### 【エサを与えている方へ】

他のエリアからこれ以上猫を集めないため、可愛がっている猫が食事を終えたら、すぐに片付けてください。置きエサ（エサを置いたまま放置すること）をしますと、近隣地域から新たな猫を集めてしまいます。そうすると、これまで手術してきたことが、無駄になってしまいます。

### 【猫の被害で困っている方へ】

残念ながら、猫対策に決定打はないのですが、これまでの私の経験から、いくつかの具体的な方法をご案内できます。お困りの方はご相談ください。

猫は爆発的な繁殖力があり、1匹のメスから始まって、**1年以内に孫の代まで誕生し、20匹以上**に増えます。そうすると、フン尿などの被害が非常に深刻になります。

**猫が好きな方も、猫で困っている方も、ともに気持ちよく暮らせる町になってほしいと願い、この活動をしています。**

**このようなノラ猫対策を、「地域猫活動」といい、XX市行政も推奨しています。**

深夜・早朝にひとりで不審な行動をしていると思いますが、気がつきましたらお声かけいただくと、とても心強いです。

今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

〇〇〇マンションXXX号室      〇山   090-XXXXX-XXXX

※ 仕事のため平日の日中は不在です。

※ 仕事のため電話に出られないことも多いですが、折り返し電話をさせていただきます。